

スポーツ文化施設建設運営特別委員会

日時 令和3年9月22日（水）

午前10時

場所 第四委員会室

○ 議 題

《文化創造推進課》

1 （仮称）多文化都市八戸文化芸術推進基本計画の策定について

《スポーツ振興課》

2 新井田公園テニスコート増設等工事について

《美術館》

3 新美術館の企画について

《長根屋内スケート場》

4 長根屋内スケート場における夏季合宿の状況について

(仮称) 多文化都市八戸文化芸術推進基本計画の策定について

1 計画策定の趣旨

平成29年6月に「文化芸術基本法」が改正され、地方における文化芸術の推進に関する計画の策定が努力義務として規定されたこと、また、平成27年12月策定の「八戸市文化のまちづくりビジョン」が推進期間を概ね5か年としていたことから、新たに当市の文化芸術施策の推進に関する基本的な計画を策定するもの。

2 策定状況

市民アンケートや複数の文化団体等へのヒアリングを実施し、附属機関である「多文化都市八戸推進懇談会」や庁内関係課連絡会議において審議を重ね素案作成を進めている。

3 計画案の概要

(1) 基本理念の考え方

文化芸術から市民一人ひとりが受け取る恩恵と、地域社会が受け取る恩恵の両方を大切にすることを基本として計画の理念とする。

(2) 構成案

- 第1部 基本計画について・・・計画策定趣旨、基本理念、施策体系等
- 第2部 主要施策に基づく取組・・・6つの施策の取組の方向性等
- 第3部 主な拠点施設における取組・・・官民の文化施設の運営方針等

(3) 施策の方向性

【施策1】文化芸術に親しむ

市民による多彩な文化芸術活動の振興、子ども達が文化芸術に親しむ機会の充実など

【施策2】新たな創造への取組

アートプロジェクトの実施やパフォーミングアーツ、クリエイティブビジネスの振興など

【施策3】文化芸術による共生社会

障がい者等による文化芸術の鑑賞や参加など社会包摂の取組や国際交流の推進など

【施策4】伝統の継承と活用

ユネスコ世界遺産の縄文文化の発信、地域に根ざす文化・文化財の保存継承と活用など

【施策5】担う人・支える人の確保・育成

専門人材の確保・育成、文化ボランティアの活動振興など

【施策6】連携のソフトインフラ

多様な主体が連携するプラットフォームづくり、県や近隣自治体との連携強化など

4 計画期間

5年間：2022年度（令和4年度）～2026年度（令和8年度）

5 今後の予定

～12月 素案作成 ⇒ 1月 パブリックコメント ⇒ 3月 基本計画策定

新井田公園テニスコート増設等工事について

1 工事の概要

新井田公園内の既設のクレイコート6面を人工クレイコートに改修するとともに、コート2面、照明設備及び管理棟を新設するもの。

2 予算額

(単位:千円)

年度	事業費	財源		
		国庫 <small>(社会資本整備総合交付金)</small>	市債	一般財源
令和2年度	200,000	100,000	100,000	0
令和3年度	200,000	100,000	90,000	10,000
令和4年度	0	0	0	0
合計	400,000	200,000	190,000	10,000

※予算は令和2年度から4年度までの継続費

3 工種及び工期

工種	工期
コート基盤工事	令和3年5月13日～令和4年3月25日
電気設備工事	令和3年7月31日～令和4年3月25日
コート改修工事 管理棟建築工事	令和4年度を予定

4 契約額

工種	契約額
コート基盤工事	111,760,000円 (うち消費税及び地方消費税の額 10,160,000円)
電気設備工事	96,030,000円 (うち消費税及び地方消費税の額 8,730,000円)

5 契約者

工種	契約者
コート基盤工事	中当建設株式会社 (八戸市大字田向字向平 12 番地 1)
電気設備工事	株式会社京谷電気 (八戸市北白山台二丁目 8 番 23 号)

6 令和3年度スケジュール

内容		月											
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
コート 基盤工 事	準備工	■	■	■	■	■							
	仮設工					■							
	施設等撤去工					■							
	排水設備工					■	■	■	■				
	敷地造成工						■	■					
	施設整備工								■	■	■		
	コート基盤工							■	■	■			
電気設 備工事	準備工			■	■	■	■	■	■				
	施設等撤去工						■						
	幹線設備工				■	■	■	■	■				
	照明設備工										■		
	放送設備工										■		

7 工事の進捗率 0% (令和3年8月末時点)

(参考：表層材の違いによる耐久性及びメンテナンス費用の比較)

1 耐久性

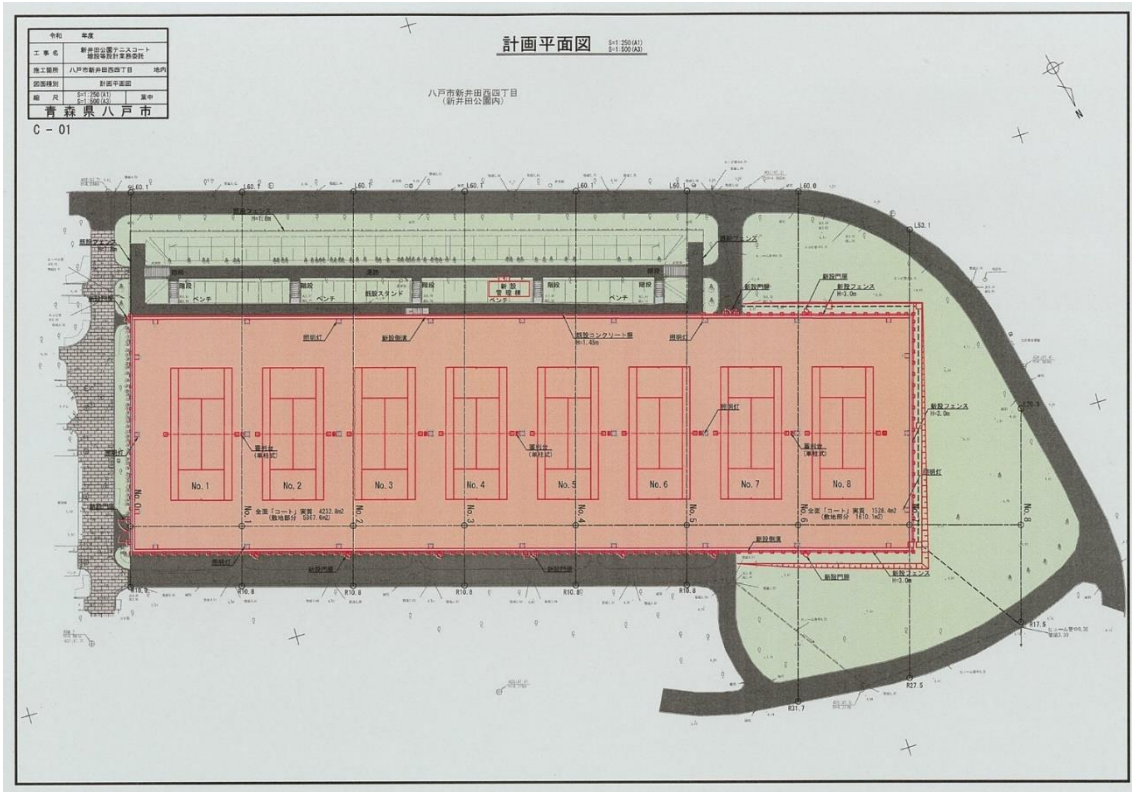
表層材名	耐久期間	備考
人工クレイ	10年程度	ベースライン付近の摩耗による部分張り替えまでの期間
クレイ	—	1~2年毎にラインテープの張り替えが必要

2 メンテナンス費用/年 (8コートあたり)

表層材名称	費用/年 (税込み)	内容
人工クレイ	165千円	・補充用ガーネットサンド購入費
クレイ	2,640千円	・コート補修工 1,848千円 ・ラインテープ張替工 352千円 等

※現在の新井田公園テニスコートのメンテナンス費用/年 (6コートあたり)

- ・コート補修工 1,321千円
- ・ラインテープ張替工 264千円 等
- ・合計 1,980千円 (税込み)



新美術館の企画について

1. プレイベント「美術館のプロログ」について

(1) 目的

新美術館の開館に向け、市民の関心や機運を高めるとともに、施設運営のための様々なテストやお試し利用、開館後の事業につながる活動などを行い、施設運営に反映させるため、プレイベントを実施する。

(2) 実施済のもの

■ 8月8日（日） 開館まで88日！カウントアップイベント

開館まで88日となる8月8日に、開館準備中の美術館内を一般公開。館内の見学とあわせて、ミニコンサートやトークイベントをお楽しみいただいた。また、八戸学院地域連携研究センターに委託（協力：現代芸術教室アートイズ）し、アートワークショップを同時開催した。

・時間・内容

①10:00-11:30 ②12:00-13:30 ③14:00-15:30 ④16:00-17:30 ⑤18:00-19:00

※①と③の回は仙台フィルハーモニー管弦楽団ミニコンサート及びアートワークショップ、
④の回は館長&スタッフトークを開催。

・入場者数：624名（オンラインチケットまたは往復はがきで事前申込制）



■ 8月21日（土） 江頭誠アーティストトーク+作品用柄毛布募集

柄毛布で立体物をつくる、開館記念「ギフト、ギフト、」参加アーティストの江頭誠さんによるトークイベントを開催した。（オンライン配信も実施）

・時間：14:00～15:30

・参加者数：14名



(3) 当初の予定を変更したもの

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月下旬から9月にかけて実施予定だったプレイベントについては、開催延期またはオンライン配信での開催へと変更した。

イベント名称	当初の開催予定日	変更内容
トークイベント「建築にみるこれからの美術館～八戸市美術館の可能性～」	8月26日(木)	延期して開催 (12月12日(日)予定)
アートファーマープロジェクト 「八戸市美術館建築ツアーガイド」	<講座> 8月26日(木)、 9月3日(金)、10日(金) <ガイド実施> 9月17日(金)～20日(月祝)	延期して開催 (10月～12月)
八戸市文化協会選抜作家展	9月17日(金)～20日(月祝)	延期して開催 (10月1日(金)～3日(日)予定)
浅田政志アーティストトーク+祭りのスナップ写真募集	9月26日(日)	オンライン配信で開催

2. 開館記念「ギフト、ギフト、」について

(1) 内容

八戸を代表する祭りである八戸三社大祭を出発点に、アートを通して「ギフト」の精神を見つめる展覧会とプロジェクトを開催。地域のリサーチから着想を得た新作や浮世絵などの多彩な作品の展示や、作品や地域への学びを深めるプロジェクトを全館で展開する。

(2) 会期

令和3年11月3日(水祝)～令和4年2月20日(日)

(3) 参加アーティスト・コレクション

浅田政志(写真家)、江頭誠(現代美術家)、大澤未来(映像作家)、大西幹夫(切り絵作家)、KOSUGE1-16(現代美術家)、田附勝(写真家)、田村友一郎(現代美術家)、西澤徹夫・浅子佳英・森純平(八戸市美術館設計者)、八戸クリニック街かどミュージアム浮世絵コレクション、榎本佳子(陶芸家)、向井山朋子(ピアニスト・美術家)

(4) 観覧料(カッコ内は20名以上の団体料金)

一般1,300円(1,100円)、高校・大学生700円(500円)、小・中学生200円(100円)

- ・未就学児、八戸市内及び近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)の小・中学生は無料
- ・市内の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添い者1名は半額

(5) 関連アートファーマープロジェクト

プロジェクト名	期間	内容
向井山朋子パフォーマンス「gift」	令和3年10月～11月	ピアニストの向井山朋子氏と共にパフォーマンスを行う
かだるアート浮世絵/山車編	令和3年11月～令和4年2月(月1回程度)	浮世絵文化や山車造形について学び、語り、深め合うプロジェクト
種さがしラボ	令和3年11月～令和4年2月(月1回程度)	100年後の八戸を創造するための種を探すアイデアミーティング

3. 開館記念以降の展覧会・企画について

(1) 八戸市美術館コレクション展（仮）

約5年ぶりに八戸市美術館のコレクションを展示。コレクションの歴史や、土地・人とのつながりを紹介し、これからのコレクションのあり方を考える展覧会となる。

■会期：令和4年3月19日（土）～6月上旬

(2) まるごと馬場のぼる展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ！

絵本「11ぴきのねこ」シリーズで知られる、三戸町出身の漫画家、馬場のぼる氏の絵本や漫画の仕事に加え、50年分のスケッチブック、交友関係、楽しみのために制作した絵画や立体作品などを紹介する。また、漫画に熱中していた青少年時代の作品や資料、中学生の頃を振り返って描いた自伝漫画などを通してルーツをたどる。

■会期：令和4年7月2日（土）～8月28日（日）

■備考：練馬区立美術館（令和3年7月25日（日）～9月12日（日））ほか、全国巡回予定

(3) 佐藤時啓展 八戸マジック・ランタン－幽かな光－（仮）

写真家の佐藤時啓氏が平成28年から八戸に通い、撮影した写真作品を中心とした展覧会。マジック・ランタン（幻灯機）などの光学装置をテーマにした作品や、最新の技術を使用した作品など、カメラや写真に関する様々な機器や現象を利用した作品を展示する。

■会期：令和4年10月下旬～令和5年1月上旬

4. 今後のスケジュールについて（予定）

- ・令和3年9月18日 新美術館広場等工事完了
- ・令和3年9月～10月 開館記念事業（展覧会・プロジェクト）の会場設営、開館準備
- ・令和3年11月3日 開館、開館記念「ギフト、ギフト、」実施（令和4年2月20日まで）
- ・令和4年2月23日～ 一般貸館利用開始
- ・令和4年3月19日～ 八戸市美術館コレクション展（仮）開催（令和4年6月上旬まで）

5. 新美術館広場現況写真



長根屋内スケート場における夏季合宿の状況について

1 夏季合宿の概要

- (1) 合宿期間 令和3年7月下旬～9月末
(2) 利用団体数 36団体（前年同時期と比べ 17団体増）
(3) 利用延人数 5,806名（ 〃 3,280名増）

※ 利用延人数には、各団体からの事前連絡による9月中の見込み数を含む。

- (4) 宿泊施設数 八戸市内14施設、三沢市内1施設

2 夏季合宿誘致の取組

(1) 案内文の送付

スケート部のある企業、大学、高等学校、各都道府県のスケート連盟あてに、夏季合宿の利用案内とともに施設紹介パンフレットを送付したほか、市ホームページに合宿者向けの情報を掲載

(2) 合宿者向け自転車練習コースの更新

合宿者のトレーニングの充実を図るために昨年度設定した自転車練習モデルコースの情報を更新し、市ホームページにて周知

(3) 施設利用の合宿者優先時間の設定

合宿者が効率的にトレーニングできるように、トレーニング室利用に係る合宿者の優先時間を設定

3 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 合宿者向けガイドラインの策定・通知による協力要請

- ・合宿者名簿の提出
- ・接触確認アプリ（COCOA、CODE8）の利用推奨
- ・マスク着用の徹底（リンク滑走、トレーニング時以外）
- ・「三つの密」（密集・密接・密閉）の回避

(2) 施設の対応

- ・手指消毒液の設置、サーマルカメラによる体温測定
- ・施設の換気設備による定期的な換気
- ・施設（トレーニング機器含む）の定期的な消毒

4 参考（夏季合宿期間における競技会）

長根サマースピードスケート競技会

- ・開催日 令和3年8月21日（土）、22日（日）
- ・主催 青森県スケート連盟
- ・参加者数 184名